（宮古伊良部農業水利事業所）

平 成 ３０ 年 度

要　　請　　書

平成 30 年 5 月

（一社）沖縄県農林水産土木建設会

〒901-2131　　沖縄県浦添市牧港 5 丁目 6 番 8 号（沖縄県建設会館 4F ）
TEL：098（874）3480　　FAX：098（874）3470

内閣府沖縄総合事務局
宮古伊良部農業水利事業所
所長　平良　和史　殿

(一社)沖縄県農林水産土木建設会
会　　長　　仲 本　豊
賛助会会長　　城 間　敏夫

要　請　書（案）

平素から継続教育制度（ＣＰＤ）の認定研修会をはじめ、当建設会の活動に対し、格別のご支援とご協力を賜り心から厚く感謝申し上げます。

平成２４度からスタートした「沖縄２１世紀ビジョン」、「沖縄 21 世紀農林水産業振興計画」に基づき、引き続き「亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備」等により、生産供給体制の強化、持続可能な農林水産業の展開を積極的に推進することが重要であります。

つきましては、下記の事項について積極的に取り組んで頂きますよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

Ⅰ.当建設会会員の評価並び活用について

貴職が発注する工事及び設計委託業務の一般競争入札総合評価方式や指名競争入札等において、当建設会が実施している研修会や災害協定の締結、地域貢献活動等の諸活動について、引き続き評価措置を講じると共に、会員、賛助会員の積極的な活用をお願い申し上げます。

Ⅱ.入札条件の緩和について

貴職が発注する工事において、入札参加資格Ａクラスを対象として発注する工事の場合、Ｂクラスの地元企業が技術的に施工可能な工事については、入札参加資格の対象となるよう、ご配慮下さるようお願い申し上げます。

Ⅲ．発注や施工時期の平準化について

施工時期等の平準化は、人材・資機材の効率的な活用や担い手の処遇改善・確保にも資することから、貴職が発注する工事においても、適切な工期を設定の上、発注や施工時期の平準化に努めて頂きたい。

Ⅳ．平成３１年度予算の増額について

平成３０年度の沖縄県の農業農村整備事業費は、沖縄振興交付金（ハード交付金）の２年連続減額伴い、203.8 億円と対前年度比5%、11.4 億円の減額（内 NN 交付金は 77.8 億円対前年 11.7 億円13%の減）となる厳しい結果となりました。

本県の農林水産業を取り巻く環境は、本県特有の台風・干ばつ、島しょ性に由来し厳しい状況にあります。引き続き、農林水産業の生産基盤の整備及び農村、漁村の生活基盤の改善が強く求められています。

きましては、平成３１年度の国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」の予算要求にあたっては、前年度以上の予算増額をお願い申し上げます。また、国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」の早期効果発現のため、県、市、土地改良区の関連事業の執行においても一体的な取り組みに見合った予算確保をお願い致します。

Ⅴ．賛助会(建設コンサル)の要望事項

貴職が発注する設計委託業務において、地元企業が技術的に可能な業務については、沖縄県内に本店あること等により県内企業への優先発注をお願い申し上げます。